



ポーランド政府観光局ニュースレター54号

## クラクフで「ライコニク」を見よう！



長いとんがり帽子と黒いひげ — 昔アジアからヨーロッパに侵入したタタール人を彷彿させるエキゾチックな装束で白馬の人形とともにクラクフをねり歩くライコニクは、ヴァヴェルのドラゴンとともにクラクフのシンボルとして親しまれています。

クラクフでは、毎年、聖体節直後の木曜日にライコニクのパレードが開催されています。マウオポルスカ地方衣装や民族舞踊、音楽などがお祭り気分を盛り上げてくれます。

パレードが始まるのは30日の午後、ヴィスワ川のほとりにある聖アウグスティヌス&バプティスマのヨハネ教会から、Zwierzniecka通りを経て、17時に国立フィルハーモニー付近で踊りが始まります。また19時には中央広場が舞台になります。

[»もっとくわしく](#)



### 【ホテル】マズーリ湖水地方/古城ホテルHotel Krasicki

今年29日、北ポーランドのLidzbark Warmińskiリツバルク・ヴァルミンスキに新しい古城ホテル（四ツ星）がオープンします。

バロックやロココ様式の宮殿とは一味違った荘厳で重厚なゴシックの建物。インテリアは快適でシックなモダンクラシカルスタイルでまとめられています。

ハイクオリティーのSPAやレストランもあり、ゆったりとバカンスをお楽しみいただけるおすすめホテルです。

[»もっとくわしく](#)



### 【話題】『白貂を抱く貴婦人』はどこに？

チャルトリスキ美術館蔵『白てんを抱く貴婦人』はレオナルド・ダ・ヴィンチが女性一人を描いた肖像画4枚のうちの一つとして知られる名画ですが、今春までワルシャワで公開された後、その後の展示がどうなるのが注目されていました。

この絵は、2011年5月より9か月にわたりマドリッド、ベルリン、ロンドンで展示された後、2012年2月よりチャルトリスキ美術館の工事終了までクラクフ市内の国立美術館でご覧いただけることが決定いたしましたのでお知らせいたします。



### 【イベント】この夏、中世騎士物語の感動を体験！

6月から8月にかけて、各地で中世の武術トーナメントイベントが開催されます。甲冑に身を包んだ騎士が手綱さばきも軽やかに一騎打ちを繰り広げるシーンなどはまるで映画の中の一コマのよう。イベントの出店にはいろいろな騎士グッズが並び、めずらしいおみやげが手に入るかもしれません。



ポーランド政府観光局  
東京都新宿区西新宿3-4-4  
京王西新宿南ビル7階  
Copyright © 2010 ポーランド政府観光局

#### 便利なサイト

- » [動画](#)
- » [フォトギャラリー](#)
- » [イベントカレンダー](#)

#### 便利なリンク

- » [ポーランド政府観光局HP](#)
- » [ポーランド国鉄](#)
- » [ポーランド政府観光局のブログ](#)
- » [ポーランド政府観光局 Facebook](#)
- » [ポーランド政府観光局 twitter](#)